



引き金：

軽く引くと圧縮エアーだけが吐出し、さらに引くと塗料がスプレーされます。

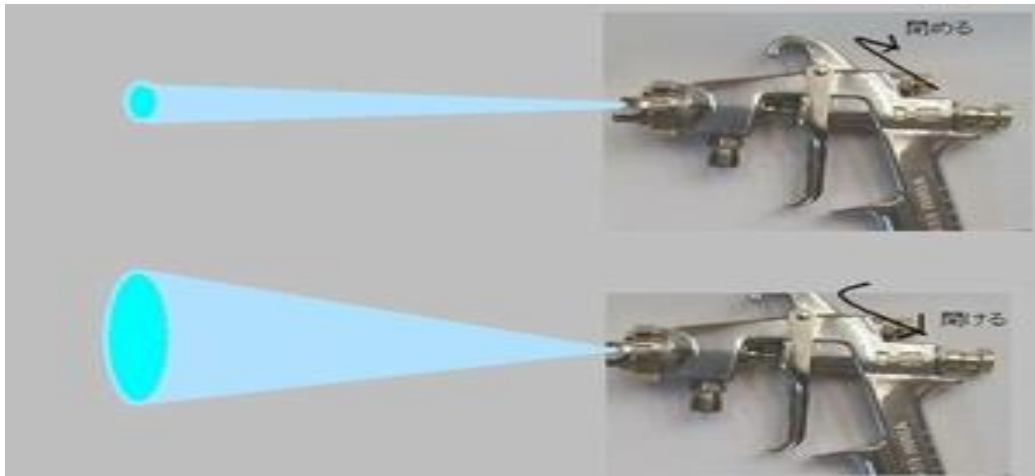
この機構を利用してスプレーとエアブローを繰り返すこともできます。

引き加減によっては塗料の吐出量もある程度は調節できますが、基本的に塗料の吐出量は吐出量調整ツマミによっておこないます。

パターン調整ツマミ：

スプレーパターンの広がり进行调整します。時計回りに閉めていくとパターンは狭くなり、反時計回りに開けていくと広がります。

被塗装物の形状や大きさ等によって調整します。



吐出量調整ツマミ：

引き金を一杯に引いた状態での塗料の吐出量を調整します。

時計回りに閉めていくと吐出量は少なくなり、反時計回りに開けていくと吐出量は多くなります。アクリルウレタンのソリッドの場合は一杯に閉めた状態から2.5回転～3.5回転ほど、メタリックの場合は2～2.5回転ほど開けるのが標準の仕様になっておりますが、狭い面積等の場合はさらに吐出量を絞ってスプレーするとタレやムラを防止できます。

空気キャップ：

圧縮エアによって塗料を霧化する重要部品です。ツノが水平の状態にセットするとスプレーパターンが垂直になり、ツノが垂直の状態にセットするとパターンは水平になります。

被塗装物の状態によってガンを左右水平に動かしながら塗装する場合はツノを水平に、ガンを上下垂直に動かしながらの塗装の場合はツノを垂直にセットします。スプレー縦パターンで上下に塗り重ねを行うと塗り重ね部分が極端に厚くなり、タレやムラになります。

エア圧調整ツマミ：

ガンに入る圧縮エアの量を調整します。時計回りに閉めていくとエア量が少なくなり、反時計回りに開けていくとエア量が多くなります。

小型タイプのガンでは吹き付け空気圧力は0.24MPa（3kgf/cm²）前後で設定して、このツマミは全開で使用する事が多いのですが、被塗物が小さかったり狭かったりする場合はエア量を絞ることによって塗料の飛び散りを軽減することが出来ます。

上カップ式の場合はカップ内の塗料が重力で落ちてくる為、かなり低い圧力でもスプレーできます。